

# 年表

時代	年代	おもなできごと	
先土器・ 縄文・弥生 時代	1世紀以前 1世紀	狩りや魚とりの生活がおこなわれる 農耕生活が始まる	
大和・奈良・ 平安時代 鎌倉・室町・ 安土桃山時代	7世紀 11世紀 1180年 1495年 1504年 1590年	治承4 明応4 永正1 天正18	久野に高塚式古墳が作られる 小田原周辺で武士が登場する(中村氏, 土肥氏など) 源頼朝が石橋山で平氏方に敗れる 北条早雲が小田原城をおとし入れる 早雲に招かれた宇野藤右衛門が秘薬「秀頂香(ういろう)」をつくる 豊臣秀吉が小田原を攻めて, 北条氏をほろぼす 大久保忠世が小田原城主となる
江戸時代	1703年 1707年 1708年 1711年 1726年 1782年 1787年 1799年	元禄16 宝永4 宝永5 正徳1 享保11 天明2 天明7 寛政11	江戸大地震がおこり, 天守閣もこわれるほど大きな被害をうける 富士山が大噴火し, 火山灰により大きな被害を受ける 大口土手が切れる 大口土手が切れる 田中丘隅, 文命堤をつくる 小田原地方に大地震がおこり, 大きな被害を受ける 二宮尊徳が栢山に生まれる 小田原藩と川口広蔵の指導のもとに荻窪せぎが完成し, 58町余の水田が開発される
明治時代	1871年 1872年 1876年 1878年 1888年 1889年 1896年 1900年  1903年 1906年	明治4 明治5 明治9 明治20 明治21 明治22 明治29 明治33  明治36 明治39	小田原県ができたが, その年のうちに, 足柄県になった はじめての小学校, 日新館(今の三の丸小)ができる 足柄県が神奈川県にふくまれることになった 新橋—国府津間に鉄道が開通した 国府津—小田原—湯本間に馬車鉄道が開通する 小田原町となる(人口約1万6000人) 小田原—熱海間に人車鉄道が開通する 国府津—小田原—湯本間に電車が開通し, また, この年に小田原に電燈がつく 小田原に電話が開通する 小田原—熱海間の人車鉄道が軽便鉄道となる
大正時代	1913年 1920年 1923年 1925年	大正2 大正9 大正12 大正14	小田原で初めて家庭用ガスが使われる 熱海線が小田原まで開通し, 箱根登山鉄道も開通する 関東大震災がおこり, 大きな被害を受ける 大雄山線が小田原—関本間に開通する 久野川が現在の流れになる



## しょう 市章の由来

小田原市の市章は, 昭和16年に決まりました。  
小田原は昔から梅の名所として知られ, また相模湾(さがみ 湾)に面して漁業がさかんで  
す。こうした小田原の特ちょうを表すため, 波頭(なみがしら)で梅の花をかたちづくって,  
市章としました。

時代	年代		おもなできごと
昭和時代	1927年	昭和 2	小田急線が新宿—小田原間に開通する
	1934年	昭和 9	丹那トンネルができ、東海道線が小田原経由となる
	1936年	昭和11	小田原の上水道ができ、給水を始める
	1940年	昭和15	小田原町、足柄町、大窪村、早川村、酒匂村の一部と合併して小田原市がたんじょうする(人口約5万5000人)
	1945年	昭和20	小田原の町が何度も空しゅうをうける
	1948年	昭和23	下府中村が小田原市と合併する
	1950年	昭和25	桜井村が小田原市と合併する
	1954年	昭和29	豊川村、酒匂町、国府津町、上府中村、下曾我村、片浦村が小田原市に入る
	1956年	昭和31	曾我村の一部(上曾我、下大井、鬼柳、曾我大沢)が小田原市に入る
	1960年	昭和35	小田原城の天守かくがつくり直される
	1964年	昭和39	東海道新幹線が開業し、特急が小田原に停車する
	1969年	昭和44	小田原本港が完成する 小田原厚木道路が開通する
	1971年	昭和46	橘町が小田原市と合併する
	1972年	昭和47	西湘バイパスが全面開通する
	1976年	昭和51	市の木(くろまつ)、市の花(うめ)が制定される
	1978年	昭和53	現在地に市役所ができる 東口広場が整備され、地下街が完成する
1979年	昭和54	三保ダムが完成する	
1981年	昭和56	久野に新しい清そう工場ができる	
			小田原新港が完成する
平成時代	1994年	平成 6	かもめ図書館・小田原文学館ができる
	1995年	平成 7	6月22日、小田原市が20万人都市となる
			市の鳥(コアジサシ)が制定される
	1996年	平成 8	小田原市総合文化体育館・小田原アリーナが完成する
	1997年	平成 9	ごみを9種類にわけ、資源の分別収集、リサイクルが始まる
	1998年	平成10	かながわ・ゆめ国体が開催され、小田原も会場となる
	2000年	平成12	市の魚(メダカ、アジ)が制定される
			小田原城銅門が復元される 小田原市が施行時特例市になる
	2001年	平成13	小田原こどもの森公園わんぱくらんどがオープンする
	2003年	平成15	都市計画道路小田原早川線開通(城山トンネル開通)
	2004年	平成16	小田原駅東西自由連絡通路(アークロード)が完成する
2007年	平成19	小田原西口駅前広場が完成する 小田原市教育都市宣言が制定される	
2011年	平成23	コミュニティ放送局・FMおだわらが開局する	
		小田原のまちづくりにかんする、新たな総合計画(おだわらTRYプラン)がはじまる	
2015年	平成27	おだわら市民交流センターUMECOが開設される	
2016年	平成28	小田原城天守閣リニューアルオープン	
2017年	平成29	城山陸上競技場リニューアルオープン	
令和時代	2019年	令和 1	漁港の駅TOTO小田原がオープンする
	2020年	令和 2	市立図書館が閉館する
			小田原市立かもめ図書館を小田原市立中央図書館に改称(かもめ図書館は愛称として継続)する
			小田原駅東口図書館が開館する
	2021年	令和 3	小田原三の丸ホールがオープンする

# 1 小田原市の1日



**出生**  
1日当たり2.4人

令和6年



**死亡**  
1日当たり7.0人

令和6年



**転入**  
1日当たり21.5人

令和6年



**転出**  
1日当たり18.6人

令和6年



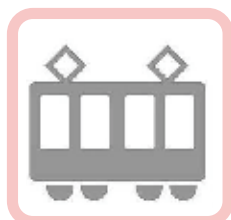
**結婚** (本市届出件数)  
1日当たり1.7件

令和5年度



**離婚** (本市届出件数)  
1日当たり0.8件

令和5年度



**JR乗車人員**  
(小田原駅・東海道本線)  
1日当たり30,698人

令和5年度



**小田急線乗車人員**  
(小田原駅)  
1日当たり27,856人

令和5年度



**図書館の貸出冊数**  
1日当たり1,384冊

令和5年度



**ごみ** (処理量)  
1日当たり170t

令和5年度



**し尿** (処理量)  
1日当たり3.6kl

令和5年度



**水道** (使用量)  
1日当たり48,985m<sup>3</sup>

令和5年度



**火災**  
(市消防本部管内)  
1日当たり0.26件

令和5年



**刑法犯罪**  
(小田原警察署管内)  
1日当たり3.4件

令和6年



**交通事故**  
(小田原警察署管内)  
1日当たり1.6件

令和6年



**天守閣入場者数**  
1日当たり1,615人

令和5年度

出典 令和6年度 小田原市統計要覧

## この本の作成にご協力をしてくださった方々、ところ（順不同）

- 株式会社カネボウ小田原工場
- ライオン株式会社
- MeijiSeikaファルマ株式会社
- 株式会社ダイナシティ
- フレスポ小田原シティーモール
- ラスカ小田原
- JR東日本
- JR東海
- 小田急電鉄(株)
- 箱根登山鉄道(株)
- 伊豆箱根鉄道(株)
- 松原神社
- (株)濟世堂薬局小西本店(薬博物館)
- 欄干橋ちん里う(梅万資料館)
- 籠常商店(かつおぶし博物館)
- 株式会社丸絵江嶋事業部(倭紙茶舗)
- 有限会社早瀬幸八商店(ひもの工房)
- 株式会社ういろう
- 朝ドレファ〜ミ♪(JA)
- 小田原駅名産店
- 小田原蒲鉾協同組合
- 教育出版株式会社
- 鈴廣蒲鉾株式会社
- 高橋 忠克さん
- 小田原柑橋倶楽部
- 魚竹
- 中村 泰良さん
- 小伊勢屋
- 株式会社田中組
- 小田原囃子多古保存会
- 下田 誠一さん
- プリの森づくりプロジェクト
- 青柳 守さん
- 報徳二宮神社
- 報徳博物館
- 旧村田医院
- 善栄寺
- (株)小田原魚市場
- 大川 肇さん
- 大津 晃さん
- 菌部産業株式会社
- 露木木工所
- 小田原警察署
- 開成町教育委員会
- 足柄歴史再発見クラブ
- 神奈川県水産技術センター相模湾試験場
- 神奈川県企業局利水電気部利水課
- 流域下水道酒匂管理センター
- 神奈川県流域下水道整備事務所
- 帝国書院
- 水産航空株式会社
- (有)石橋印刷

---

### ■小田原市役所

企画政策課／広報広聴室／地域政策課／観光課／産業政策課／商業振興課／農政課／水産海浜課  
生涯学習課／文化財課／環境政策課／環境事業センター／消防総務課／防災対策課／水道整備課  
下水道整備課／川東タウンセンターマロニエ／市立図書館／郷土文化館／小田原市観光協会  
神奈川県行政資料室

---

### ■引用・参考文献

「1枚の古い写真」小田原市立図書館／「小田原・足柄の100年」千秋社／「とみず子ども風土記」  
「足柄歴史新聞 富士山と酒匂川」足柄歴史再発見クラブ  
「小田原市立久野小学校開校50周年記念誌」／「関東大震災体験記録集」(山王網一色公民館)

---

## この本の作成に当たった方々（順不同）

### ■編集・執筆

◎納 今日子(酒匂小学校) ○長山 武司(東富水小学校) ○横山 聡(下府中小学校)  
星野 真吾(曾我小学校) 小林あゆみ(富士見小学校) 松井 香織(富士見小学校)  
〔◎委員長 ○副委員長 所属は平成26年3月31日現在〕

小田原市教育研究所職員

### ■イラスト(さし絵)

堀井 寛子(保健給食課) 隅田 美紗子(教育総務課)〔所属は平成24年3月31日現在〕  
市川 実咲(三の丸小学校)〔所属は平成26年3月31日現在〕

### ■表紙デザイン

odango crafty

「わたしたちの小田原」は、昭和44年発行の「おだわら」が前身となっています。その後、昭和55年に「わたしたちの小田原」と名を変え、今にいたります。改訂の時は、それまでの内容を参考にし、時代に合ったものを作成しています。昭和44年から、この副読本の編集に関わった方たちは次のとおりです。(順不同)

府川 元治／海野 勇／三橋 進／秋山 起一／久保寺康治／山内 鉄男／安西 洋  
斎藤清一郎／山田 三郎／飯田和 昇／竹内 通雄／米山 真／飯沼 武／浜脇 幹  
和田 章／市村 昇／原田 豊／内田 清／星崎 茂／横井 清賢／市川 敬一  
勝俣淳一郎／杉山 勉／石綿 勉／渡辺 喜充／森田 邦元／浅川 京子／青柳 守  
山内 淑江／日比野英男／芥川三千忠／遠藤 倫弘／尾上 弘美／片山 達夫／呉地 初美  
佐久間秀樹／宮川千枝子／坂元 繁雄／本多 晋／諏訪部光夫／大場 得信／久保寺 仁  
梅村 正美／小林 守／松尾 和俊／古屋 守／宮内 守／鍵和田輝夫／林 允之  
五関 義幸／石井 政道 (敬称略)

小学校社会科副読本  
新版「わたしたちの小田原」



- 発行日 令和8年3月31日
- 発行所 小田原市教育研究所  
小田原市荻窪300 電話(33)1730
- 発行者 中畑 幹雄
- 印刷所 (有)石橋印刷

小田原市立

小学校